

2023年、
YCAMは
開館20周年を
迎えます

2023
2024



20th ANNIVERSARY

2023年度のYCAMの事業



Axis of Experience

—創造の渦巻き

会田大也
山口情報芸術センター[YCAM] アーティスティックディレクター
+
伊藤隆之
山口情報芸術センター[YCAM] R&D ディレクター

2003年11月に開館したYCAMは、2023年に20周年を迎えます。開館当初よりYCAMはさまざまなアーティストと協働し、メディア・テクノロジーと表現との関係を模索し続けてきました。おかげさまで、国内外の芸術祭や展覧会といった芸術分野における巡回展示・公演の実績も着実に重ねてきました。さらに、教育やコミュニティといった領域においてもジャンルの新たな局面を開拓し続けています。

一方、世界的なパンデミックや大国による武力での状況変更といった予期せざる事態が次々と起こるなかで、私たちにはある能力が問われているように思えてなりません。それは未曾有の状況を洞察し、仮説を立て、勇気を持って行動に移していく力です。私はこの力こそ「創造力」と呼ばれるものの正体なのではないかと考えます。あらゆる時代や地域において、過去の様式を乗り越え新しい表現を生み出し続けてきた芸術家のみならず、社会を驚かせるアイデアを実現させた人物や、時代を押し進めてきた偉人たちが備えていた能力のことです。

こうしたなか、YCAMでは開館20周年記念事業のテーマを「Axis of Experience—創造の渦巻き」と掲げ、さまざまな事業を展開していきます。イメージとしては経験の価値軸が幾多も渦巻いている様子を想像しています。一つの経験が次々に連鎖して、新しい経験を呼び覚ましていくような状況です。

YCAMの開館から20周年を迎えるにあたり、今後の文化施設のあり方を考えるなかで、経験の連続性や相互作用の重要さを、広義の文化的な学びの環境作りやまちづくりへと適用できるのではないかと思います。地元地域に広がる多様な歴史的・文化的資源や人々の生活に組み込まれている創意工夫を見つめ、これらを一連の創造の渦巻きと捉えることで、YCAMもこれらにコミットして、大きなうねりへと転換していく様子をイメージしています。そして新しいアートセンターの姿として、アート作品の委嘱制作や紹介に加えて、これら山口から発信する文化資源を育み、地域の人々が生きいきと使いこなし、学びの糧とする様子を想像しながら具体的な事業を形作ります。来場する方々を、観客として迎えるだけでなく、ひとつひとつの経験を相互に影響し合いながら紡いでいくプレイヤーとして、パートナーシップを結んでいきたいと思っています。こうしてこれらの経験が次々とつながっていくことによって、多様な価値軸を持つ豊かな文化を、山口の地から未来へと継承していけると考えています。

EVENT CALENDAR

	2023												2024		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
The Flavour of Power—紛争、政治、倫理、歴史を通して食をどう見るか？ 2023年3月11日～6月25日															
許家維+張碩尹+鄭先喻 浪のしたにも都のさぶらふぞ 2023年6月3日～9月3日															
コロガルあそびのひゃっかてん 2023年7月8日～9月10日(夏会期)／2023年11月11日～2024年1月14日(冬会期)															
Yamaguchi Seasonal 2023 2023年7月23日～11月5日															
スベキュラティブ・ライブラリー 2023年10月28日～2024年1月28日															
Afternote 山口市 映画館の歴史 2023年11月25日～2024年3月17日															
第7回 未来の山口の運動会 —あつまれ! 未来のスポーツ収穫祭 2023年5月5日															
ハイバイ 再生 2023年7月8日・9日															
YCAM Dance Crew メディア・テクノロジーでダンスをパワーアップするワークショップ 2023 2023年7月15日・16日(初中級者向け)／2023年8月12日・13日、18日～20日(中上級者向け)															
アンディ・マンリー ベック 2023年7月30日															
真夏の夜の星空上映会 2023 2023年8月10日～13日															
YCAM 爆音映画祭 2023 2023年9月15日～18日															
Audio Base Camp #2 2023年9月22日～24日															
バック・トゥ・バック・シアター 影の獲物になる狩人 2023年10月14日・15日															
木ノ下歌舞伎 勸進帳 2023年10月21日・22日															
YCAM オープンラボ 2023 2023年11月4日															
わたしもアートがわからない 2024年1月14日															
未来の山口の授業 at School 2023 通年															
sound tectonics installation 通年															
やまぐちアートコミュニケータープログラム 2023 通年															
YCAM シネマ 通年															

The Flavour of Power

— 紛争、政治、倫理、歴史を通して食をどう見るか？

2023年3月11日～6月25日

食にまつわる多様なアプローチを考えるYCAMの研究開発プロジェクト「食と倫理リサーチプロジェクト」の成果を発表する展覧会です。
インドネシアを拠点に、食を通じた社会政治やジェンダー問題について取り組むアーティストコレクティブ、バクダバン・フード・スタディ・グループとYCAMが共同で実施したリサーチに基づいて制作された映像インスタレーションや、カードゲームなどを発表します。

食を通して見えてくる、
歴史・社会の変遷を辿る



砂糖を通して見る
日本と台湾の近代の記憶

許家維 + 張碩尹 + 鄭先喻

浪のしたにも都のさぶらふぞ

2023年6月3日～9月3日

台湾を拠点に活躍する許家維(シュウ・ジャウェイ)、張碩尹(チャン・ティントン)、鄭先喻(チェン・シェンユウ)の新作を発表する展覧会です。

日本統治時代の台湾における製糖産業を起点に、
3人は日本と台湾の関係や東アジアにおける近代化の記憶を辿る作品を共同で制作しています。
台湾編と日本編の二部作で構成され、本展で世界初公開となる日本編は、
かつて国際貿易として繁栄した北九州・門司港を主な舞台に、
人形浄瑠璃とCGアニメーションを組み合わせ、映像とライブパフォーマンスからなる作品です。

コロガルあそびの ひゃっかてん

2023年7月8日～9月10日(夏会期)

2023年11月11日～2024年1月14日(冬会期)

子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造するための環境としてデザインされた遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版です。会場は山口市中心市街地に位置する百貨店です。百貨店や商店街の特性を活かし、子どもたちのアイデアに対してさまざまな人々からフィードバックを受けることで、遊びを通じて他者や社会とつながる「コミュニケーションツール」としての公園を実現。山口市と進める「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として実施します。

百貨店の
内部に
子どもたち
自身が育む
学びの場が
オープン



撮影:山中慎太郎(Qsyum!)

Yamaguchi Seasonal 2023

2023年7月23日～11月5日

YCAMがこれまで制作／発表してきたインスタレーション作品を、山口市内の各所で公開する展覧会です。YCAMは、開館以来、メディア・テクノロジーを応用した新たな表現の探求を活動の軸に据えており、さまざまなアーティストと多種多様なインスタレーション作品を制作／発表してきました。2022年に引き続いて2回目の開催となる今回は、音楽家・坂本龍一が制作に携わった「Forest Symphony」など、私たちを取り囲む自然の変化へと意識を開く作品を展示します。

アートとメディア
テクノロジーの
遭遇が山口の
風物詩になる



撮影:山中慎太郎(Qsyum!)



2021年に開催した「知識のマーケット」の様子
撮影:谷康弘

スペキュラティブ・ ライブラリー

2023年10月28日～2024年1月28日

アートセンターの社会的な役割を再考するためのプラットフォームとしての展覧会です。展覧会場は図書館を模した設えとなっており、社会変革のためのツールとしての芸術表現とメディアテクノロジーが持つ可能性に焦点を当てたさまざまなアイデアが集積されています。来場者はこうしたアイデアを通じて、アートの利用価値について考え、推測し、実験していきます。会期中には、ワークショップなどのイベントも多数開催します。

アートセンターの
有用性を探る



山口市の道場門前にあった金竜館の様子(1991年撮影)
撮影:吉見健太郎

Afternote 山口市 映画館の歴史

2023年11月25日～2024年3月17日

山口市における映画館の歴史を、市民の記憶と残された資料などの記録を通じて辿る展覧会です。終戦直後から1950年代にかけて、山口市には10館以上の映画館がありました。本展ではかつて山口市内に存在した映画館の歴史、そして映画館とともに消えてしまったもの、現在に受け継がれているものを再確認していきます。アーティストの志村信裕による映画館にまつわる市民の記憶を紐解くドキュメンタリー映像のほか、当時の映画館に関する資料や、貴重な写真や映像を展示します。このほか会期中には、山口ゆかりの映画の特集上映や、映画の歴史を楽しむワークショップなども開催します。

山口市内の
映画館の
歴史を辿る



山口発！
未来の
スポーツを
体感しよう

第7回 未来の山口の運動会

—あつまれ！未来のスポーツ収穫祭

2023年5月5日

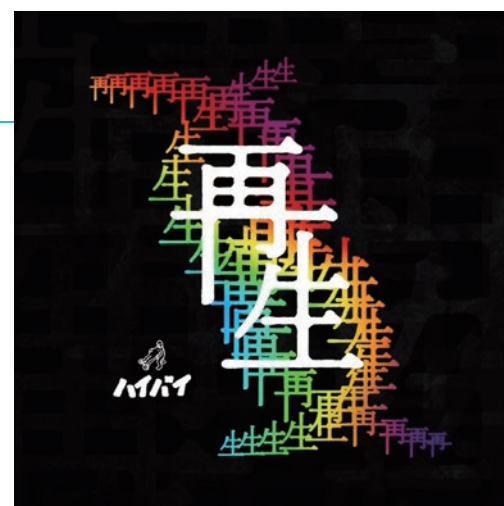
新しいスポーツを協働により開発する「スポーツ共創」という考え方に触れ、それによって生まれた新しいスポーツを実際に競技するイベントです。さまざまな立場からスポーツ共創を実践している山口市在住のクリエイターを、運動会の運営として迎え、新しいスポーツを展開。参加者はチームに分かれ、勝敗を競っていきます。そしてそのスポーツは、未来の運動会の定番種目になる…かも？大人も子どもも、お年寄りも、学校や地域でおこなわれる運動会とは一味違うアイデアいっぱいの未来の運動会で、一緒にスポーツを収穫しましょう。

ハイバイ 再生

2023年7月8日・9日

劇作家・演出家・俳優の岩井秀人が、東京デスロックの「再生」を新たに演出し上演する公演です。2006年に東京デスロック主宰の多田淳之介の作・演出で発表された本作は、30分の物語を3回繰り返すという構造を持ち、決して再生できない「時間」や今ここにある「生」を克明に描き出した作品です。2015年に岩井と俳優によって上演され、混沌とした舞台上で繰り返される俳優たちによる圧倒的な「生」の叫びが話題を集めました。今回はキャストを一新し、ハイバイとして、再度の「再生」に挑みます。

演劇界を
賑わせた
問題作が
再び
「再生」する



今までの
ダンスの
見せ方が
進化する

YCAM Dance Crew 2023

メディア・テクノロジーで ダンスをパワーアップする ワークショップ

2023年7月15日・16日(初中級者向け)

2023年8月12日・13日、18日～20日(中上級者向け)



撮影:田邊アツシ

ダンスと映像表現を組み合わせた創作に取り組むワークショップです。2021年に続いて2回目の開催となる今回も国内外で活躍する振付師や映像作家、YCAMのスタッフを講師に、ダンス映像の制作に本格的に取り組めます。振付と映像撮影や編集の方法を講師から学んだあとに、チームに分かれてダンス映像を作る初中級者向けコースと、振付、撮影、編集を全て自分でおこなう中上級者向けコースを実施します。制作したダンス映像には講師陣からアドバイスも。自分のSNSにも投稿できます。

子どもと楽しむ パフォーマンス

アンディ・マンリー
ペック

2023年7月30日



アンディ・マンリー『Stick by me.』(2017年)
Photo: Mihaela Bodlovic

子どもたちのための作品創作に定評のあるスコットランドの舞台アーティスト、アンディ・マンリーによるパフォーマンス作品の公演です。本作はイギリスと京都での滞在制作を経て発表される新作で、さまざまなシーンで出会う「鳥たちの歌声」をテーマとした作品です。タイトルは、鳥たちがくちばしでつくくことを意味しており、大人も子どもも楽しめるノンバーバルな舞台作品です。

真夏の夜の 星空上映会 2023

2023年8月10日～13日

隣接する山口市中央公園で開催する毎年恒例の
野外上映イベントです。

多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連
れからお年寄りまで多くの方々が来場し、YCAM
の「夏の風物詩」として、大きな賑わいを見せてい
ます。

夏の風物詩、
今年も開催！



撮影:谷康弘

YCAM 爆音映画祭 2023

2023年9月15日～18日

YCAMの音響環境を最大限に利用し、繊細な大
音響で映画を鑑賞する上映イベントです。

爆音映画祭とは、映画評論家の樋口泰人が国内
外で開催している上映イベントで、ライブ・コンサ
ート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて
映画を鑑賞するものです。今年も樋口の監修のも
と、国内でも最高レベルの音響環境といわれるスタ
ジオAを会場に、工夫に溢れたセッティングで上映
を実施し、これまでにない映画体験を創造します。

日本最強の
爆音映画祭



撮影:谷康弘

撮影:谷康弘



録音物の
深淵を覗く

Audio Base Camp #2

2023年9月22日～24日

高品質な大音量の中でレコードやCDなどの録音
物を聴取するリスニングイベントです。

Audio Base Campは、国内でも最高レベルの音
響環境と言われるYCAMのスタジオAに、ライブ・
コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカ
ーをセッティングし、特定のテーマに沿った録音
物を楽しむイベントです。第2回となる今回も、研究
者やアーティスト、レコード店主などさまざまな専
門家が、日本の民謡や電子音楽、初期のビニール
盤といったテーマに応じて多種多様な録音物を紹
介します。

©Jeff Busby



オーストラリア発の
世界的先駆者が
山口初上陸

バック・トゥ・バック・シアター 影の獲物になる狩人

2023年10月14日・15日

オーストラリアを拠点に、知的障がいのある俳優
たちを中心に運営されるバック・トゥ・バック・シ
アターによる演劇公演です。彼らは多様な個性を持
つ人々が創作する劇団の先駆者として、30年以上
にわたって鋭く、そしてユーモラスに人間の持つ
可能性を肯定し続けてきました。

住民を集めて開かれる集会。人間を脅かすAIにどう
備えるのか？を語るうちに見えてくるものとは――。
人権や性、そして、私たちは集団として責任のある
決定を下すことができるのか？を問いかける刺激的な
舞台です。

木ノ下歌舞伎 勸進帳

2023年10月21日・22日

現代における歌舞伎演目の可能性を検証、発信する劇団・木ノ下歌舞伎による、歌舞伎の代名詞的演目「勸進帳」を上演する公演です。

木ノ下歌舞伎を率いる木ノ下裕一と、スペクタクルな演出で小劇場から商業演劇まで引く手あまたの演出家・杉原邦生のタッグで2010年に初演された本作は、「義経一行の関所越えを描いた忠義の物語」とされる勸進帳を〈関所＝境界線〉として読み解き、現代社会を取り巻くあらゆる〈境界線〉が交錯する、多層的なドラマへと再構築した作品です。数度の再演を経て、話題の作品が再び帰ってきます。

木ノ下歌舞伎『勸進帳』(2016)
監修・補綴 木ノ下裕一
演出・美術 杉原邦生
撮影・井上嘉和 提供・KYOTO EXPERIMENT 事務局

弁慶が！
義経が！
あらゆる
ボーダーラインを
超えていく



撮影：塩見浩介



わたしも アートがわからない

2024年1月14日

芸術作品をより楽しみ、鑑賞を深めるためのイベントです。

美術教育の専門家や研究者など、さまざまな背景をもつゲストを講師に迎え、作品鑑賞の際に鑑賞者の中に生まれる「わからない」という感覚を出発点に、作品鑑賞をより楽しいものに変化させるための「コツ」を、レクチャーや作品の鑑賞会などを交えながら伝えます。作品に対して柔軟で幅広い視点を培う方法を参加者同士で共有し、作品と自分、そして他者とのコミュニケーションの場を創り出します。

作品の魅力を
発見するコツ
をお伝えします！

YCAM オープンラボ 2023

2023年11月4日

今日におけるアートや研究開発、公共文化施設のあり方を捉え直すトークイベントです。

2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に多くの作品を発表してきたYCAMは2023年で20周年を迎えます。このイベントでは、さまざまな分野で創造性と公共性について考察してきたゲストを招き、トークやディスカッションを通してこれからのYCAMの姿について構想していきます。

これからの
YCAMの姿を
語り合う



撮影：ヨシガカズマ

撮影：塩見浩介



未来の山口の授業 at School 2023

通年

YCAMが開発した教育プログラムを山口市内の小中学校で実施するプロジェクトです。

山口市教育委員会と共同で実施する「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、ファブラボ山口の協力のもと、山口市内の小中学校でYCAMが開発した教育プログラムを実施するとともに、学校教員向けの研修を開催します。情報を分かりやすく伝達、発信する能力や、プログラミング的思考などの能力を育み、これからの社会を担う人材の育成につなげていきます。

「学びのプラットフォーム」としての
YCAM

sound tectonics installation

通年

館内の中庭でサウンドインスタレーション作品を展示する展覧会シリーズです。

YCAMでは開館以来、サウンドアートや音楽など音に関する取り組みを展開しており、コンサートのほかにサウンドインスタレーション作品の展示もおこなってきました。この展覧会の会場となる中庭は、ホワイエに面し、ガラスの吹き抜けが心地よい佇まいが特徴の空間で、床下にはサウンドシステムが設置されています。足下からわき出してくるような聴覚体験を活用した新たなサウンドインスタレーションを複数紹介します。

新たな
サウンド
表現に挑戦



撮影:勝村祐紀

やまぐち アートコミュニケーター プログラム2023

通年

アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成する長期間のプログラムです。

このプログラムは、公募で集まった市民を対象に実施するもので、イベントの企画制作に必要な「観る力」「面白がれる力」を、期間中におこなわれる研修を通じて習得。最終的にはそれをもとに、中心市街地などで開催中の展覧会などにまつわるツアー形式の鑑賞イベントやワークショップなどのイベントの企画／制作を参加者主体でおこないます。

アートや学びに
関するイベントの
ノウハウを
身につけよう



撮影:谷康弘



古典から最新作まで
幅広く上映

YCAM シネマ

通年

国内外の優れた映画を選定し上映しています。

会場となるスタジオCは、35mmフィルムからデジタル上映まで幅広い上映素材に対応した上映機材を備え、鮮明なデジタル作品だけでなく、今や上映機会の少なくなったフィルム作品も鑑賞できます。

映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、今年も古典から最新作まで幅広い時代かつ、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催します。

2023 2024



ycam.jp

山口情報芸術センター Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7
TEL. 083-901-2222 information@ycam.jp

開館時間 10:00～20:00(イベント開催時は22:00閉館)

休館日 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日～2024年1月3日)

臨時休館日(4月27日、2024年2月28日～3月7日)